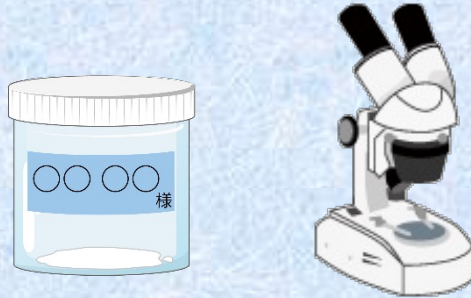


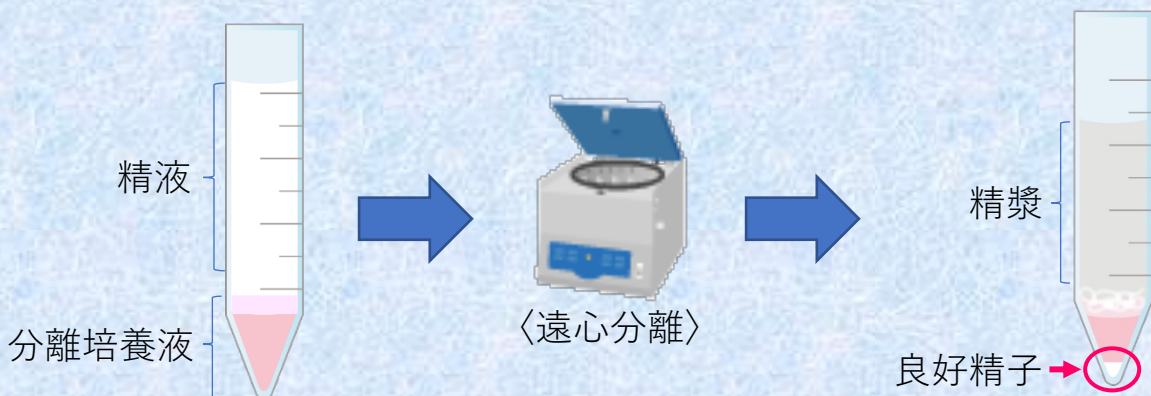
採卵当日の精子について

～通常の前製～

① 採精した時間から**30分間以上**、静置します。精液は採取した時は粘性が強いのですが、**30分間静置**することで液状化します。液状化後にカウントを行います。



③ 精液はそのままでは体外受精に用いることができません。精液は「精漿」と「精子」からできています。遠心分離を行い、体外受精に用いるための精子を回収します。



遠心分離をすることで、ゴミなどの不要物が取り除かれ、良好な精子が分離培養液を通過して沈殿します。
この沈殿した精子を体外受精に用います。

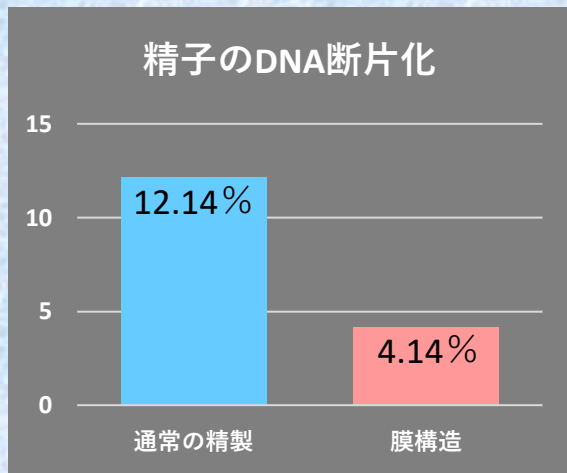
～膜構造を用いた生理学的精子選択術～ ※先進医療

DNAの損傷のない精子を選別する方法です。通常の前製では、遠心分離を行うため、精子にダメージを与えてしまう可能性があります。膜構造を用いた生理学的精子選択術を行うことで、以下の効果が期待できます。

- ・ 精子のDNA断片化(ダメージ)の低下
- ・ 受精卵の培養成績が向上
- ・ 着床率・妊娠率が上昇
- ・ 流産率の低下

※通常の前製よりも精子の回収は低くなるため、この方法を行う場合は顕微授精となります。

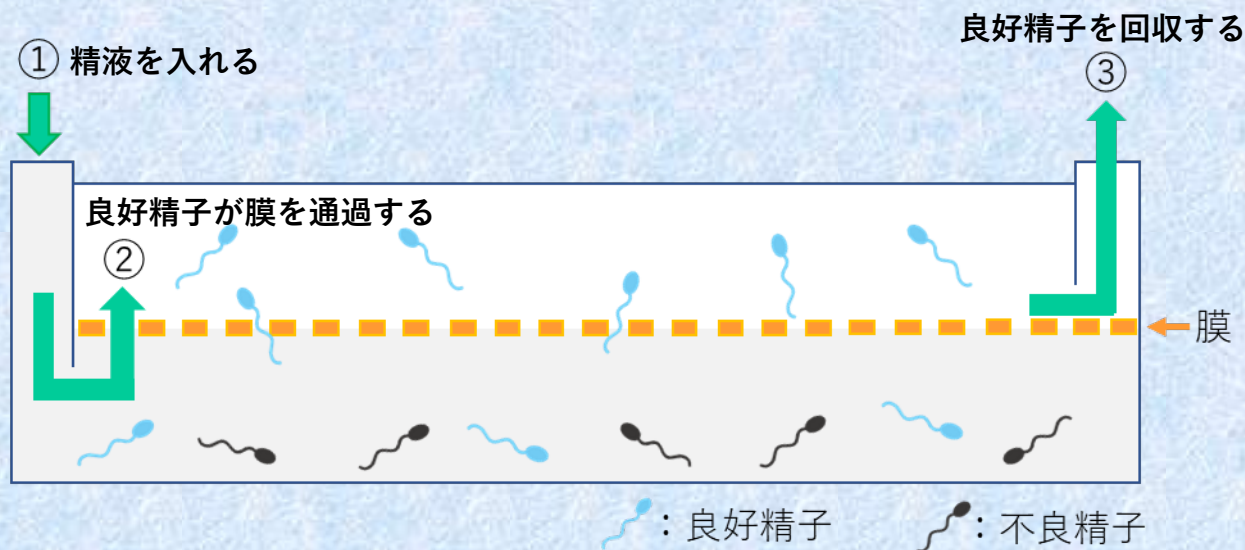
※詳しくは医師にお聞きください。当日の精液所見によっては、使用できない場合があります。



(Meseguer et al., 2024 Biomedics)

《方法》

通常の前製と同様に、採取した時間から30分間静置し、精液が液状化した後にカウントを行います。



①精子を選別するキットに、精液を入れます。

②良好な精子が膜を通過します。

③集まった良好な精子を回収し、体外受精に用います。